

第 1 回岩手県議会臨時会を終えて

2023 年 9 月 22 日

日本共産党県議団

斉藤 信

高田一郎

9 月 3 日投票の県議会議員選挙後初めての第 1 回岩手県議会臨時会が、9 月 20 日から 22 日の 3 日間開かれました。

20 日の本会議では、議長選挙、副議長選挙が行われ、自民党の多数派工作によって、第 3 会派のいわて新政会の工藤大輔氏が議長に、第 4 会派の飯澤匡氏が副議長に選出される異例の事態となりました。日本共産党は達増県政を支える立場から議長選挙では希望いわての郷右近浩氏に、副議長選挙では名須川普氏に投票しました。当日開かれた議会運営委員会でも自民党、いわて新政会、いわて県民クラブ・無所属の会の連携・協力で、委員長には自民党の城内愛彦氏が、副委員長にはいわて新政会の佐々木朋和氏が選出される事態となりました。これらの経過と対応については斉藤県議団長が談話を発表しています。

21 日には各常任委員会が開かれ、委員長、副委員長の選出が行われました。斉藤県議は文教委員会、高田県議は農林水産委員会の所属となりました。

22 日には、議会選出の監査委員の選任と競馬議会議員の選挙が行われました。東日本大震災津波復興特別委員会の設置が議決されました。県政調査会の役員の選任も行われました。

日本共産党県議団は 2 名となりましたが、9 月 15 日には、達増知事に「新型コロナ感染拡大の第 9 波への対応についての緊急申し入れ」を行いました。公約実現に全力で取り組みます。

以上